産地とうつわ。

MINO | SETO | BANKO | SHIGARAKI

美濃焼（みのやき）

多様性が生んだ、日本最大の陶磁器産地

美濃焼は岐阜県東濃地方で生産され、日本の陶磁器生産量の約半数を占める、日本を代表する焼き物です。桃山時代に誕生した「志野」「織部」「黄瀬戸」などの美濃桃山陶は、現在も高い評価を受けています。
最大の魅力は、デザインと実用性の幅広さ。和食器から洋食器、業務用まで対応し、日常使いしやすい価格帯と品質のバランスに優れています。



| 特徴 |

- 多彩な釉薬表現と形状
- 現代の食卓に合うデザイン性
- 家庭用・業務用ともに高い汎用性

瀬戸焼

せとやき



| 特徴 |

- 長い歴史と確かな伝統
- 釉薬を活かした上品な風合い
- 茶器・食器・装飾品まで幅広い展開



「せともの」の名を生んだ、釉薬文化の中心地

瀬戸焼は、愛知県瀬戸市を中心に生産され、日本の陶磁器文化を支えてきた産地のひとつ。「せともの」という言葉が生まれたほど、日本人の生活に深く根付いてきました。
最大の特徴は、日本でいち早く施釉陶器を完成させた技術力。灰釉、鉄釉、染付など、時代とともに多様な表現を生み出してきました。

萬古焼

ばんこやき



耐熱性に優れた、
実用陶器の名産地

萬古焼は三重県四日市市を中心に生産され、特に土鍋・急須で高い評価を受けています。「割れにくく、火に強い」という特性は、日常使いの器として非常に実用的です。
紫泥急須に代表されるように、機能性と落ち着いた美しさを兼ね備え、家庭から業務用まで幅広く支持されています。

| 特徴 |

- 高い耐熱性・耐久性
- 土鍋・急須の国内トップシェア
- 実用性重視の安定した品質

信楽焼

しがらきやき



炎が生み出す、
土の力強さと自然美

信楽焼は日本六古窯のひとつで、滋賀県甲賀市信楽町を中心に生産されています。粗い土味と自然釉、焼成時に生まれる「火色（ひいろ）」が特徴です。
たぬきの置物で有名ですが、近年はモダンな食器やインテリア陶器としても注目されています。自然素材ならではの温かみと存在感が魅力です。



| 特徴 |

- 土の質感を活かした素朴な表情
- 自然釉と火色による唯一無二の風合い
- 和・洋・空間演出に対応するデザイン性